

生かそう憲法! 守ろう9条!

憲法は日本と世界の『宝』

憲法9条改悪に反対する声が国民世論の多数にもかわらず、国会は自民、民主、公明が圧倒的多数を占め、それを財界とアメリカが後押しする異常な事態が生まれています。いま、日本国憲法は大きな危機にさらされています。

日本国憲法が大きな危機に



自衛隊のイラク派兵を機に、海外での武力行動、「戦争でできる日米同盟」への動きがいつそう強まっています。

米国は日本政府に憲法9条「改正」を要求。それに呼応するように、小泉首相をはじめ自・公・民は改悪の日程を具体的に示しています。

「21世紀は戦争のない平和な世界に」の願いを実現するために、憲法を生かし、輝かせる行動をあなたもぜひ。

日本国憲法第9条（戦争の放棄、戦力の不保持・交戦権の否認）

- ①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- ②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

日本の良心を代表する9人の文化人が「9条の会」を発足

この改悪の動きに對して、日本の良心を代表する9人の文化人が、世界に誇る日本国憲法を守り、発展させようとして6月10日に「9条の会」を発足させ、「憲法改悪反対の一点での共同」を呼びかけるアピールを発表しました。いま全国で「9条の会」の「アピール」に賛同する声がかつてない勢いで広がっています。

- （9条の会メンバー）
- 井上 猛
 - 梅原 猛
 - 大江 健三郎
 - 小田 実
 - 奥平 康弘
 - 加藤 周一
 - 澤村 俊輔
 - 鶴見 祐輔
 - 三木 睦子

憲法改悪に反対する署名にご協力を

国民の多数は「9条改悪」にノー。だが改憲発言ラッシュが...

憲法改悪をめぐる国会の策動

自公民

日本をアメリカの戦争に引き込む狙いが...

2004年中に「憲法の論点整理」「加憲」
海外で武力行使できるよう、改憲案発表を前倒し、2005年中に「創憲」

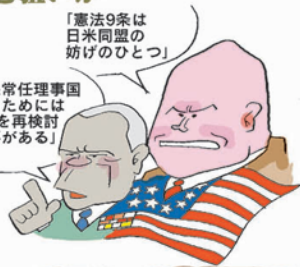
タブーを打破し、日本がリーダーシップ（東アジア）をとるには軍事力充実が必要

「憲法9条は日米同盟の妨げのひとつ」

「日本が国連安保常任理事国入りするためには憲法9条を再検討する必要がある」



2005年の自民党結成50周年までに憲法「改正」案



全労連

全国労働組合総連合

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4F
TEL 03-5842-5611 FAX 03-5842-5620 <http://www.zenroren.gr.jp/jp/index.htm>

憲法改悪に反対し、第9条を守り、 平和のために生かすことを求める署名

衆議院議長 様

参議院議長 様

【請願趣旨】

世界諸国民の21世紀の願いは、戦争も核兵器もなく平和に生きることです。

日本国憲法は、第二次世界大戦での悲惨な体験の上に、戦争を違法とする世界の流れと平和と民主主義を求める日本国民の努力によって生み出されました。

とくに第9条で掲げた「戦争の放棄、戦力の不保持・交戦権の否認」は21世紀の平和の理念として光り輝いています。

ところがいま、この第9条を中心に憲法を変えようとする動きが強まっています。そのねらいは、アメリカとともに自衛隊が海外で戦争できるようにしようとするものです。

私たちは、日本国憲法の恒久平和、国民主権、基本的人権の三原則をはじめとするすべての条項が完全に実施されることが必要であると考えます。とりわけ、憲法第9条を守り現実の政治に生かすことは、日本国民の世界平和への責務です。

【請願事項】

憲法改悪に反対し、第9条を守り、平和のために生かすことを求めます。

氏 名	住 所

(取扱団体)

全国労働組合総連合(全労連)

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4
TEL 03-5842-5611 FAX 03-5842-5620